

平成30年9月28日

上場会社名 クボテック株式会社
 代表者 取締役社長 久保 哲夫
 (コード番号 7709)
 問合せ先責任者 管理部長 記虎 政史
 (TEL 06-6443-1815)

業績予想の修正及び営業外収益の計上に関するお知らせ

当社は平成30年9月28日開催の取締役会において、下記の通り営業外収益を計上することについて決議し、また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年7月24日に公表しました業績予想を、下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1.業績予想の修正について

(1)平成31年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想数値の修正

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 800	百万円 △ 250	百万円 △ 260	百万円 35	円 銭 2.54
今回発表予想(B)	800	△ 240	△ 120	170	12.35
増減額(B-A)	0	10	140	135	-
増減率(%)	0.0	-	-	385.7	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	1,574	68	63	51	3.77

(2)平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,000	百万円 100	百万円 90	百万円 320	円 銭 23.24
今回発表予想(B)	1,600	△ 480	△ 370	△ 80	-
増減額(B-A)	△ 1,400	△ 580	△ 460	△ 400	-
増減率(%)	△ 46.7	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	3,263	195	183	122	8.91

(3)修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、後記「2.営業外収益の計上について」の通り、営業外収益の増加により経常損益が増益となりました。

通期の連結業績予想につきましては、期初に予定していた中国向けなどの画像処理外観検査装置の売上が大幅に減少する見込みとなりました。

当社は収益性改善のため採算を重視した営業活動を展開しておりますが、今回の大幅な減収は、他社との価格面での競合から受注が確保できず、さらに客先都合による来期への納期変更などが主な要因です。

損益面ではこれを主因に、売上高が計画比1,400百万円減少し経常損益は計画比460百万円悪化する見通しです。

当社といたしましては、引き続き売上確保に向けた受注努力とコストダウンにも積極的に取り組む所存です。

また新製品の開発、新規事業の立ち上げ等収益力向上に努力を重ねてまいります。

2.営業外収益の計上について

海外子会社であるKubotek USAは保有するIPアドレスを売却し、営業外収益126百万円を当第2四半期連結累計期間に計上することといたしました。

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上